

卓球バレーとは…?

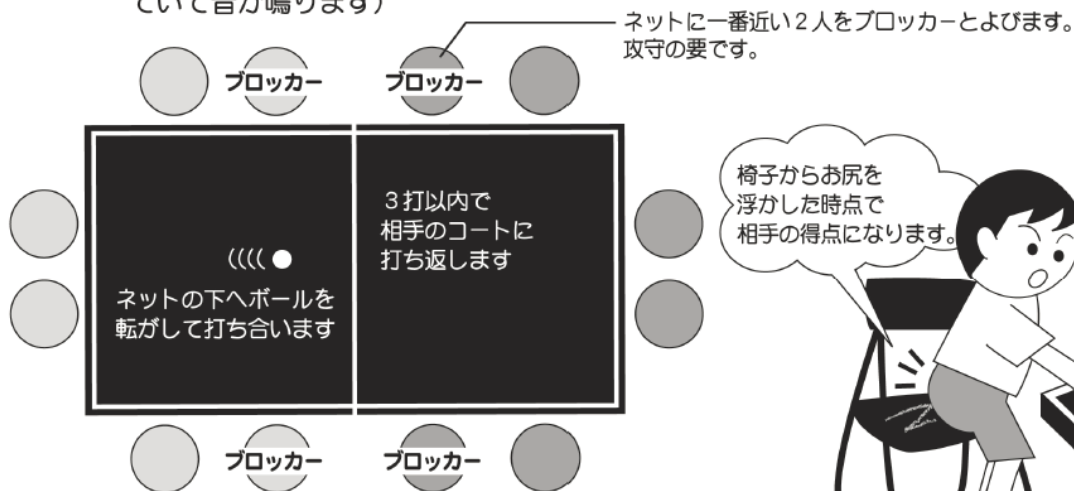
重い障害のある人もいっしょに楽しめるスポーツ

卓球バレーは、昭和49年頃、筋ジストロフィー症児のために養護学校で始まった競技です。重い障害のある人もいっしょに楽しく体を動かせるようにと考えられました。子どもからお年寄りまで楽しめます。

みんな椅子に座ってスタンバイ

1チーム6名ずつ、計12名がふつうの卓球台をかこみ、車椅子の人は車椅子で、歩ける人は椅子に座ってスタンバイします。

ラケットの代わりにかまぼこ板のような長方形の板で、通常より高く上げたネットの下をボールを転がして打ち合います。(ボールには中に金属球が入っていて音が鳴ります)



ルールはバレーボールに似ています

得点となるファウルの種類

- サーブブロック
ブロッカーは相手のサーブを打ち返すことは出来ません。
- ドリブル
球をラケットで二度打ちすると反則です。
- ホールディング
球をラケットで押さえ込みながら打つなどして打球音がない時や不自然に打球の角度が変わった時は反則です。必ずはじき返すように球を打ち返さなくてはなりません。
- ネットタッチ
ラケットや手で、ネットやネットの支柱にふれると反則です。
- ボディボール
ラケット以外の腕や体で球を打つことはできません。
- サポート
ネットの支柱にボールがあたった時はあてた側の反則です。
- スタンディング
椅子から腰を浮かせた時点で反則です。
- オーバーネット
ラケットがネットを越えて相手コートに入ると反則です。
- ボールアウト
打球がネットを越えて相手コートに入った時、また、ネットの下を通過していった球が相手コート上に落ちることなくコートの外へ出た場合は、その打球を打った側の反則です。もちろん通常の打球がコート外へ出た時には打った側の得点です。